

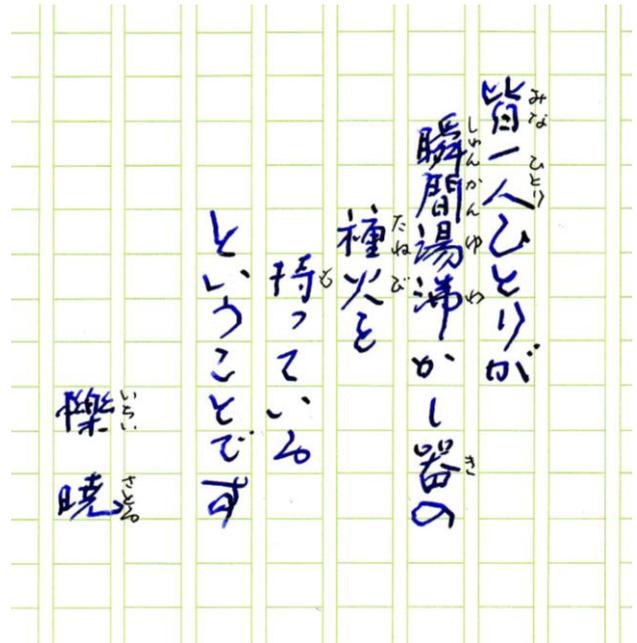
生る

真宗大谷派 存明寺通信

NO.178

2017年（仏暦2548年）5月3日発行

人は皆誰もがその内に瞬間湯沸かし器の種火を持っている、という。どういうことだろう。瞬間湯沸かし器の種火は、普段はおとなしい。静かに燃えているだけだ。ところが、いったんスイッチが入ると、瞬時に火がつき、熱いお湯が溢れだす。同じように人間の持つ種火も、普段はおとなしい。ところが、イヤなことやカチンとくるような言葉に出会うと、瞬時に怒りの炎が燃え、熱湯のような心や言葉が相手に向かう。そのことによって人間関係にヒビが入ることを繰り返しているのが人間なのではないか。仏さまの教えは、普段は見えない種火を抱える私のすがたを照らし出す教え。そんな教えを共に学んでみませんか。

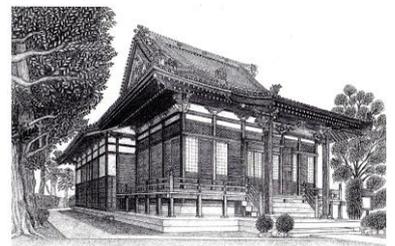


↑存明寺本堂前的一本桜・ソメイヨシノ

ぞんみょうじ 存明寺HP、随時更新中 しんらん であ 親鸞と出会うお寺

<http://www.zonmyoji.jp>

ヤマアラシのジレンマ



ヤマアラシは、背中から腰のあたりに針の
ような硬い毛を持っています。普段、針は閉
じていますが、身の危険を感じた時、自分の
身を守るために、針は反射的に立ち現れます。
そして、ときには敵を刺したりします。

そんなヤマアラシも、一人ぼっちではさみ
しくて生きていけません。仲間を求めるので
す。何にもない時には、仲間と仲良くできま
す。しかし、いったん身に危険を感じてしま
うと、反射的に針があらわれてきます。その
針で仲間を傷つけ、反対に仲間の針で自らも
傷つく。そんなことを繰り返してしまうので
す。

ヤマアラシは、次第に相手と距離を置きま
す。しかし、離れすぎるとさみしくなって近
づき、近づきすぎるとまた傷つけ合って、離
れる…。相手との距離の取り方がよくわか
らないのです。こんな状態を「ヤマアラシのジ
レンマ」と言います。

さて、ヤマアラシとは、いったい誰のこと
でしょうか。それは、実は自己防衛本能を身
につけて生きる、私たちのことです。

私は、自分の身を守る目に見えない針を、
たくさん身につけています。普段は、その針
があることさえ忘れていきます。ところが、い
ったん身に危険を感じると、その針がちだち
ころにあらわれて、身を守ります。それゆえ
人は、自らの針で人を傷つけ、同時にとなり
の人の針で自らも傷つくことを繰り返して
いるのです。

では一体どうすればよいのでしょうか。そ
れは、私に針があるということ、しっかりと
と自覚していくことからはじまります。相手
の針はよく見えるものです。苦い思いや悔し
さと共に、よくそのすがたが見えるもの。

でも、自分自身にもいろいろなすがた・か
たちの針があり、自分が相手を傷つけている
という事実は、残念ながら、私たちにはなか

なか見えてこない…。肝心の自分自身が見え
ていない場合が多いのです。

そのことを照らし出すひかりがあります。
私には針があります。その針をなくすることは
できない私です。でも、私に針があるという
ことを自覚することはできるのです。

その自覚は、私が今まで見えなかった自らの
課題、すなわち私の本当のすがたを照らし
出し、さらに深い気づきの世界へと私をいざ
なうことでしよう。

親鸞聖人が明らかにした浄土真宗、それ
は自他が持つ見えない針を、しっかりと自覚
し、本当のものと出会い続けていく宗教です。

◆おみがき奉仕御礼 (敬称略)

- 甘田 富子 内井 照江 追分 正人
 - 岡田 真 片田 律子 酒井 陽子
 - 酒井 浩美 酒井 義一 佐藤 尚宏
 - 佐藤 眞彌 佐藤 幸子 砂井 テル子
 - 角谷 軍治 高橋 昭彦 武田 紀美
 - 竹谷 タケ子 沼田 稔 早野 直樹
 - 藤井 俊五 藤井 良子 山口 良子
 - 山本 幸枝 吉岡 増子 23名
- 永代経法要に向けて、仏具のおみが
きと清掃のつどい (4月28日)



↑存明寺本堂前の一本桜・ソメイヨシノ

桜の花が開花中は、毎晩ライトアップをしています

■しんらん交流ひろば★樹心の会

月一回開かれる教えに学ぶ広場です。毎回約30名ほどの方々が参加されます。会費…500円。茶菓子の点心付き。

○5月13日(土) 2時～5時

テーマ…親鸞しんらんに人生を学ぶ

岡田好美氏・山口明雄氏・住職

3人のお話を聞いた後、3班に分かれてふれあいの時間があります。

○6月10日(土) 2時～5時

テーマ…こども食堂について

坊守・小林和子氏・高岡文子氏

存明寺で毎月行なっている「こども食堂」をテーマにスタッフがお話をします。特製「キーマカレー」の試食会つきです。

日 程 表

2:00	勤行(正信偈)	
	休憩	
2:40	お話(3名)	
3:30	休憩	
3:40	班別座談	3班
4:40	全体会(班報告)	
	お知らせ・恩徳讃	
5:00	解散	
		以上

■グリーフケアのつどい

「家族でもなく、友人でもなく、今日この場だったからこそ口にする想いと言葉があつたと思う。」「体験を言葉にすると、皆と共有できる。数々の涙に勇気をいただいた一日。」「亡くなった人を使う時、涙が流れるのはどうしてなのかなあ。」

(ひとことコメントより)

大切な方を亡くした人へ——。同じ体験をした人々のつどいです。ぜひご参加下さい。

6月24日(土) 2時～5時

9月30日(土) 2時～5時

12月16日(土) 2時～5時



↑グリーフケアのつどい 2017年3月の様子

お寺のひろば 2017年(平成29年)

5月13日(土) 2時〜 樹心の会

お話し:岡田好美氏・山口明雄氏・住職

6月10日(土) 2時〜 樹心の会

お話し:小林和子氏・高岡文子氏・坊守

6月24日(土) 2時〜 グリーフケアのつどい

7月8日(土) 11時〜 新盆合同法要

一年間の物故者をしのんで。

7月13日(木) 11時と13時 おぼん法要

お話し:井上憲司氏・松本維邦氏・住職

8月26日(土) 2時〜 青年のつどい

9月9日(土) 2時〜 樹心の会

お話し:坊守・子育てサロンスタッフ

9月23日(土) 11時と13時 秋のお彼岸法要

お話し:武田紀美氏・岸木勉氏・住職

9月30日(土) 2時〜 グリーフケアのつどい

10月7日(土) 2時〜 樹心の会

10月28日(土) 10時〜 おみがきのつどい

11月2日2時〜・3日12時〜 報恩講法要

講師:堀秀隆氏・富士原きみえ氏・渡辺一真氏

11月11日(土) 2時〜 樹心の会

12月2日(土) 11時〜 仏弟子入門「帰敬式」

12月9日(土) 2時〜 樹心の会

12月16日(土) 2時〜 グリーフケアのつどい

1月1日(月) 10時〜 修正会

◎ぞんみようじこども会 月一回

◎ぞんみようじこども食堂 月一回

◎子育てサロンいちごのへや 月一回

あともがき

▼2023年にご本山・東本願寺で「親鸞聖人誕生850年・立教開宗800年法要」が行われます。

このたび、法要の基本計画などを話し合う「宗務審議会」の委員になりました。これからは毎月一回、東本願寺に出かけてきます。

▼2011年の御遠忌法要が終わった今、次の大きな法要は「誕生85」(たんぱちご)です。私はこの年を早くから意識してきました。なので委員に選ばれたことを大変光栄に思っています。そして、やる気を持って取り組んでいきたいと思っています。

▼節目の時は必ずやってくるもの。この機会に是非覚えてください。2023年春、京都東本願寺では、親鸞聖人誕生850年、浄土真宗ができて800年の大きな法要が行われるということを。存明寺でも、いずれウオーミングアップをしましょう。親鸞に出遇うための大切な法要にむけて。



▼「ぞんみようじこども会」は30人のメンバーの内、約20人がこの春に卒業していきました。「お世話になりました。有難うございました」そんな挨拶ができるようになったとは…。思わず涙がこぼれそうになりました。

▼こうして別れの3月を経て4月。新一年生6名を含む総勢20名のメンバーで再出発をしました。新鮮な雰囲気とともに、毎月一回、こども会を開催しています。

▼ところで子ども会って、子どもたちには卒業があるのですが、こちら側には卒業がないんですね。歳を重ね、スタッフ側がどんどん高齢化しています。ちなみに最近、長男・大樹(23)が手伝ってくれるようになりました。早くも子どもたちの人気者になっています。「だいき」と、名前を呼び捨てにされながら…。

(住職・釋諦信)

東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一

〒157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp